



(初志 貴徹)

福祉の心

第 54 号

平成10年3月31日

牛島地区社会福祉協議会
岸 金 作

年を重ねるごとに、顔を気にしている。美人でなくて結構。能面のような固い表情ではなく、やわらかな笑顔でありたいものだ。と願っている。

顔は心の中を映すカガミですから、にこやかに生きて生きたいと思う。かわいいおばあちゃんといわれた嫌なことがあっても表情には出さない。にこやかな顔を習慣にした。いと、自分に言い聞かせている。

昨日の私能面だったかしら。今日の私、笑顔で過ごせたかしら。すべてに感謝するように心がけている。愚痴は自分自身を暗く、無気力にするだけです。

丈夫な私を産んでくれたご両親に私にとってかけがえのないものを残してくれた夫に終戦前と終戦後の極端な世界にこんな私に声をかけてくれる地域の方々



梶原ハツさん
大正五年生まれ、八一才。
三〇才で満州の地にて終戦。一年間の抑留生活を経、裸一貫で帰国。
一〇年前にご主人を亡くしてから、息子の奨めをふりきって現在が一番しあわせと独身生活を楽しんでおられる。敬老会にも、研修旅行にも、デイサービスにも皆勤。

六十・七十はまだまだ、しあわせにいきましょようよ。

今が一番しあわせだと感謝している。

十一月から二月までは冬眠。まわりがあたたかくなってくると、さあ、やるぞ」と気合を入れて、針仕事、食事づくり、花づくりにいそしむのです。

花。それは私なんです。全くの素人が、参考書を片手に育てたらそれなりに咲いてくれた。今年、チューリップ・つつじ・ゆり・ダリア・小菊に挑戦するつもり。

かなわない夢かな。七十八まで自転車愛用していたが、ころんでしまった。私を心配してくれている方々の強い忠告でやめたが……。

自転車に乗っているうちは怖いもの知らずだったが、やめてからは怖がりになった。

六十・七十・八十の坂を越えることは、それなりにたいへんだけど、元氣を出しましょう。

昭和42年の牛島町 (4・結)

(枝番省略)

番地	世帯主氏名
146-1	飯塚 喜市
"	茂木 七郎
146-2	高橋 晋美男
"	飯塚 イオ
146-5	太田 平八郎
147	江川 太郎
148	小林 セツ子
"	牛島 郵便局
"	小林 武治
"	藤原 三四郎
"	小 熊 タケ
148-2	石田 甚之助
"	岩 沢 裕
148-3	原田 厳
148-5	仙北谷 忠助
"	佐々木 ハル
148-6	信田 計吉
"	熊谷 秋蔵
"	佐藤 勇太
"	小 熊 淑夫
"	鈴木 政雄
148-7	平沢 良治
151	後藤 正男
152	斎藤 長子 (美容店)
153	嵯峨 キン (理容店)
154	横田 耕一
164	高橋 甚助
"	三浦 利智子
166	加賀屋 フク
"	東海林 朝治
167	瓜生 新助
"	横田 キミ
"	猪田 幸市
169	鈴木 一造

番地	世帯主氏名
169	工藤 電機
170	鷺沢 ノブエ
"	東海林 孝一
"	鶴田 新吾
171	熊谷 新之助
171-1	鎌田 二栄治
171-3	鈴木 吉雄
171-4	石井 正男
171-5	加藤 直治
174	宝袋 院
"	沢部 秀良
176	永井 新蔵
"	武田 道知
"	吉川 ツキ
"	矢口 繁治
"	吉川 金一
"	大森 尹
177	碓崎 鉄蔵
"	柴田 一義
178	加茂 金太郎
"	佐藤 喜一郎
"	千葉 要三
"	熊谷 勝美
"	磯崎 養太郎
"	磯崎 ミチ
178-1	磯崎 市太郎
180	三島 春市
"	古頭 信
181	後藤 ミヨ
"	小野寺 広美
"	永井 正定
182	藤沢 勝之助
183	鈴木 久一
184	穂多田 国重
"	菅原 重蔵

番地	世帯主氏名
2	尾形 三郎
"	藤本 福次郎
"	三浦 三郎
"	堀井 チヨノ
"	菅原 清
3-2	千葉 信一郎
3-5	田口 嬉一
3-4	鎌田 一二
3-5	進藤 勇二
3-6	進藤 金之助
3-4	千葉 信一郎
"	渡辺 春雄
"	泉 サタ
"	伊藤 房治
4-3	富橋 礼治
5-2	吉田 幸蔵
6-1	大野 二郎
7-1	菅峨 順三
"	岡本 喜矩雄
"	堀井 勇蔵
8	柴田 文之助
"	斎藤 兼松
8-2	円谷 浩之助
13-1	菅原 松男
"	佐川 長吉
14-1	菅原 健助
14-2	菅原 円治郎
"	川島 節子
15-1	伊藤 亀吉
15-2	伊藤 兼蔵
17	桑村 典三
18	富橋 銀助
19	佐々木 力蔵
20	菅原 賢助
21	菅原 金市

以上をもちまして、この連載を終わります。

社会福祉は、「人」を基盤として成り立つものですから、私たちは、先人の業に思いをはせたいと念じて、本誌の編集のあたってまいりました。

資料に課題があったことも予測されるわけですが、おおげさに申しますと、牛島の歴史の一断面に、多くの方が触れていただければという思いでの企画でした。

そして、眠っている牛島の歴史の資料を、皆様の手許にお届けしたい。との思いからでもありました。

そういう意味では「牛島地区社会福祉協議会」は、地域の歴史を掘り起こし、皆様にお届けするのも重要な役割ということになるのでは。と考えております。

自分の体のことを一番わかるのは
医者ではなく自分だ。
それが私の健康につながっている
のでは。

いくつかの試験をはずみとしてたく
さんのお友だちと一緒にしあわせに
生きていくつもりです。

皆様の御協力に

深く感謝申しあげます

牛島地区社会福祉協議会
岸 金 作

平成九年度も終ろうとしておりま
すが、おかげさまでもちまして、計
画いたしました活動事業を実施する
ことができました。

あらためて考えてみますと、私た
ち地区社協は法人格をもたない任意
団体にすぎません。

企画運営の任に当たっておられる
役員の皆様は、すべてボランティア
です。

本会には自主財源がありませんか
ら、各町内会と地域の一人ひとりの
ご協力、それに市社協の補助金によっ
て、本会の活動が支えられているの
です。

歴史の古い本会は直接的な事業と
間接的な事業を受け継いでおります。
当然のことですが、牛島に住ん
でおられる皆様を対象とした、直接
的な福祉活動に重点をおく訳ですが、
皆々様の御注意を暖かく受け止めな
がら、その内容につきましては、そ
の都度つど反省を加えて、質と量の

バランスを図って参るのが本会の重
要な課題であると認識しております。
福祉活動は長く続けなければなり
ませんし、その領域も広がっており
ます。

来年度も倍旧のご協力をお願い
いたします。

ひとり暮らし

高齢者研修旅行

理事 白山 運 平

牛島地区社会福祉協議会の事業の
ひとつでありますこの研修会は、晩
秋の小雨煙る十月二十八日に六〇名
が参加して実施されました。

☆ 御所野ふれあいセンター

ここは、むかし赤松のみごとな老
木が街道に並んでいて、牛島小学校
の遠足コースになっていた仁井田横
山地区にあります。

この地域はいま、秋田県中央地区
老人福祉総合エリアとして、秋田市
も加わって開発がすすめられている
地域です。

私たちは、この拠点となってい
る老人施設を見学しました。

今年四月の一日に開所した施設は、

- ・やすらぎホーム
- ・御所野ふれあいセンター
- ・ツエルハウス御所野
- ・デイサービスセンター

。在宅介護支援センターの五棟が
幾能的につながっていて、それぞれ
の目的を果している設計でした。
事務担当者の方を含め、保健婦・

平成九年度、九九名が巣立つ

牛島小学校卒業生

相場	亮人	大原耕太郎	加賀屋 淳
木内	真人	後藤 貴裕	齋藤 新
斉藤	眞治	齋藤 正矩	佐々木 敬司
佐々木	貴文	佐々木 拓朗	佐藤 旬
相馬	千宏	高橋 大幸	丹尾 友和
本田	和之	植野 健人	升屋 智詞
石沢	純一	五十嵐健太	五十嵐俊也
伊藤	康彦	浦部 弘之	加藤 貴則
金田	崇史	後藤 綾太	佐藤 陽輝
佐藤	陽介	後藤 麗太	菅原 雄
高橋	克嘉	高野 三浦	利之 森澤 僚介
渡部	文徳	相澤 康樹	五十嵐康太
石田	洋之	梶原 拓馬	後藤 伸
佐藤	尚樹	鈴木 孝征	高橋 達
田口	準也	田中 啓	寺門 修平
土居	孝紀	萩原 頭一	萩谷 将治
播磨	広朋	檜山 大樹	平澤 淳一
福士	和範	吉田 和幸	渡部 竜
秋葉	梢	石澤 陽子	大宮弥香子
岡部	瑠子	金澤まどか	岸 亜美
木村	妹由佳	佐々木浩子	菅原久紗子
高橋	佐月	田村 彩子	武藤沙智絵
村越	亜衣	柳田 陽子	吉田 茉耶
赤川	友紀	金澤 亜弥	北嶋 藍
小林	恵里子	坂本 空南	佐藤 鮎子
佐藤	はるか	佐藤 結花	関口 純子
高橋	直祐子	田口 佳澄	豊嶋 絵里
村井	このみ	秋元香央里	阿部 康恵
佐藤	里	佐藤 可奈	佐藤 菜実
鈴木	清花	鈴木 美穂	鈴木木綿子
高橋	瞳子	高野志津子	中村 沙織
柳田	優子	吉田 佑子	和田美由紀

つかんだ！全国切符

牛島野球スポーツ少年団
丹 野 喜 裕

牛島野球スポーツ少年団のメンバー
は、6年生11名、5年生9名、4年
生9名の計29名で、他の野球スポ少
と比較しても少ない人数ですが、全
員が野球大好きな子どもたちでした。
団員たちは、「全国大会出場」を
めざし、冬場から体育館を使って打
撃や守備練習、天気が良ければグラ
ウンドでノックを行ったりで、決して
他と違う練習をしたわけではなく、
指導者のアドバイスを良く聞き、基
本に忠実なプレーの練習を繰り返し
て、体で覚えていくという内容でし
た。

昭和61年の全国大会優勝を記念し
て毎年開催している牛島招待野球大



栄養士・看護婦士・介護の方々の暖
かい応待が印象に残りました。
こういう恵まれた施設をどう利用
するかが今後の大きな課題でしょう。

この愛称「ユフォーレ」とは、
お湯と森林浴という意味だそうです。

☆ 秋田県健康増進交流センター
ここは、太平山県立自然公園の中
にあって、紅葉に恵まれた筑紫森や、
太平山登山口の岩谷山に抱かれた景
勝の地にありました。

小高い丘の上に、周辺の緑と紅葉
に溶けこむようにグレーの外環の真
新しい建物が立ち並び、周辺にはグ
ランドゴルフ場・森林浴コース・芝
生広場などが配され、ゆったりした
駐車場が四ヶ所あり、健康づくり
はもってこいの環境が整っている所
でした。

二階の和室大広間に案内されて食
事となりました。

たえようのない笑顔で箸を運ぶ
人

カラオケで得意のノドを披露する
人

ハンカチを手に表情豊かに唄う人
詩吟をうなる人

おもむく風呂にむかう人
おもむくおもいに時を過ごしている

うち、人生の楽しさ、幸せを満喫し
ているように感じました。

☆ 岩谷峠(そうやきょう)
ここは、岩見川秋田観光三十景に
はいる地で、とくに新緑と紅葉の季
節には数多の観光客の訪れることで

会の記念すべき十回大会で優勝を勝
ち取りました。

平成9年4月からは公式戦無敗と
いう輝かしい成績で、7月に行なわ
れた全国日本学童野球秋田県大会に
は、秋田市の代表として大住野球ス
ポーツ少年団と共に出場しました。
準決勝までの試合は比較的楽な展
開でしたが、決勝戦は大接戦となり、
能代第四野球スポーツ団を7対6の
サヨナラ勝ちで、4回めの優勝旗を
手にすることができました。
閉会式では、優勝旗、優勝カップ
と金メダルを胸に、観衆の手拍子に
送られグラウンドを行進する牛島ナ
イはとてもすばらしい笑顔でした。
全国大会出場にあたり、牛島小教
職員並びに地域の皆様方からの御芳
志やご声援をいただきまして、誠に
有難うございました。

水戸市での全国大会に秋田県代表
チームとして出場したのですが、2
回戦で惜しくも埼玉県代表の東松山
スポ少に7対6で破れはしたものの、
伝統とするチームワークの良さと粘
り強い野球を展開することができま
した。

全国大会で健闘した6年生11名を
紹介します。

森沢 僚介……常に冷静で制球力の
ある左のピッチャー

五十嵐俊也……ここという時に強い
打撃とスピードボールを投げられ
るピッチャー

鈴木 孝征……強肩・強打で相手チ
ームを圧倒するキャッチャー

佐々木 敬司……プレッシャーに強く

知られており、お天気が良ければ、
清流が岩をかむ峡谷。秋にはそり
立つ岩肌の木々が紅葉し、一段とみ
ごとな景観となるのであるが、今年
の紅葉は天候の関係で若干ずれたせ
いか、今一の感じでした。が、興味
ある方はバスを降りかなり奥まで見
に行つたようで、それぞれ満足気に
バスに乗りこみ、せせらぎの町・河
辺町をあとにしたのでした。

研修旅行はいくつの雨でしたが、
「楽しい」「思いやり」の気持ちで
いじにして、人間の心を豊かにし、
夢をふくらませることになり、ひい
ては生きがいにつながっていくこと
でしょう。帰りそれぞれの家の近く
までバスをまわした「小さな福祉の
心」にも感謝されました。

月に一回のささやかな
活動ではありますが

かんば保育園で実施している、高
齢者の食事業への本年度の参加者
は延べ二〇三名に達した。(限界二
一五名)。一見ささやかには見える
が、もう後には引けないものになっ
ている。

岸会長の強い執念で出発したもの
で、開福寿会・民生委員と、これは
保育所の主体的事業と受け止めてく
れたかんばの職員という受け皿があ
りました。

参加していただく方々の条件にも
配慮されて、特異な地区社協事業と
して続いていくことでしょう。

一生懸命にプレーする一塁手
吉田 和幸……好走守に加え、打撃
のうまいセカンド

田口 準也……気迫にあふれる守備
右方向への打撃のうまい三塁手

丹尾 友和……チーム一の小柄にも
かかわらず好守備を見せるショ
ー

渡部 文徳……チーム一の駿足と強
打のレフト

佐藤 陽輝……打撃と守備に定評が
あり思い通りの良いセンター

佐々木 拓朗……試合の流れをつかみ
冷静な判断のできるライト

金田 崇史……守備と打撃に一投一
打の光るライト

全国大会出場によって、子供たち
には忘れることのできない思い出に
なったことでしょうか、父兄にとっ
ても子供に負けないうらい応援する
ことができました。

昨年は10月まで招待試合などがあ
りましたが、全国大会以降の試合で
も、「秋田県ナンバワン」のチ
ームとして無敗を続け、出場した12回
大会には、すべて優勝する輝かしい
成績をおさめました。

父兄も一年間楽しく応援すること
ができ、子どもたちの雄姿を見守る
ことができました。

現在は5年生と4年生の新チーム
になりましたが、6年生も一緒になっ
て基本に忠実なプレーを反復して体
で覚える練習を繰り返しており、新
年度の野球シーズンに向けて、牛島
野球スポーツ少年団は例年どおりの
練習を続けているところです。